



A night scene featuring cherry blossoms in the foreground and a full moon in the dark blue sky. The blossoms are in various stages of bloom, with some appearing as soft white and pink clusters. The moon is a large, pale yellow orb in the upper right corner.

し  
く  
い  
エ  
ム


古  
城  
悠




桜の樹の下で見る夢は  
悪しきけわいに染まる  
と人の言う



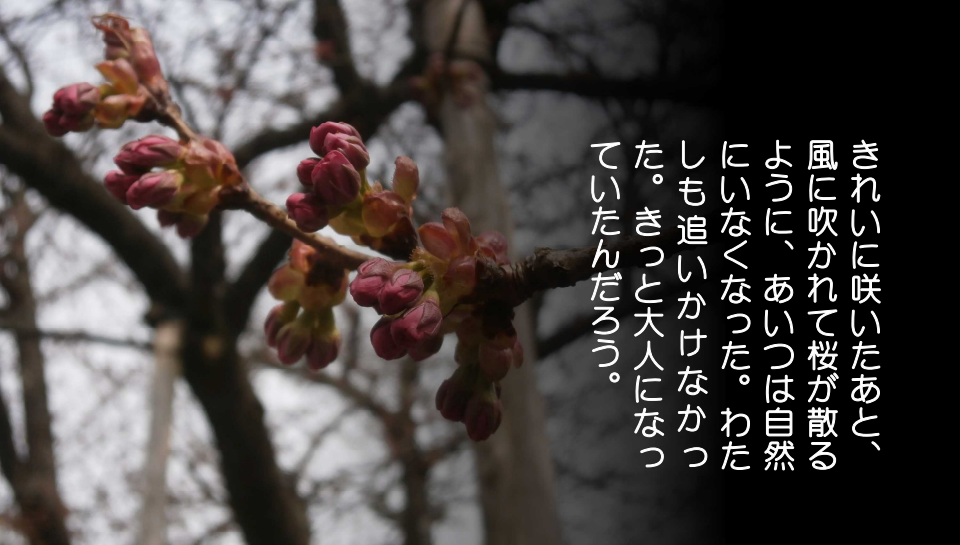
昔、付きあっていたヤ  
ツが言った言葉だ。今  
ならわかる、有名な詞  
章からのパクリだと。




でも、あの頃はカッコ  
いいことというじゃん  
と  
思ったりしたものだ。  
まだ子供だったんだろ  
う。

A dark, atmospheric photograph of a traditional Japanese building with a stone path leading to it, framed by cherry blossoms in the foreground. The scene is dimly lit, with the cherry blossoms in the foreground providing a soft, pinkish glow. The building in the background has a traditional architectural style with a tiled roof and wooden structure. The overall mood is nostalgic and serene.

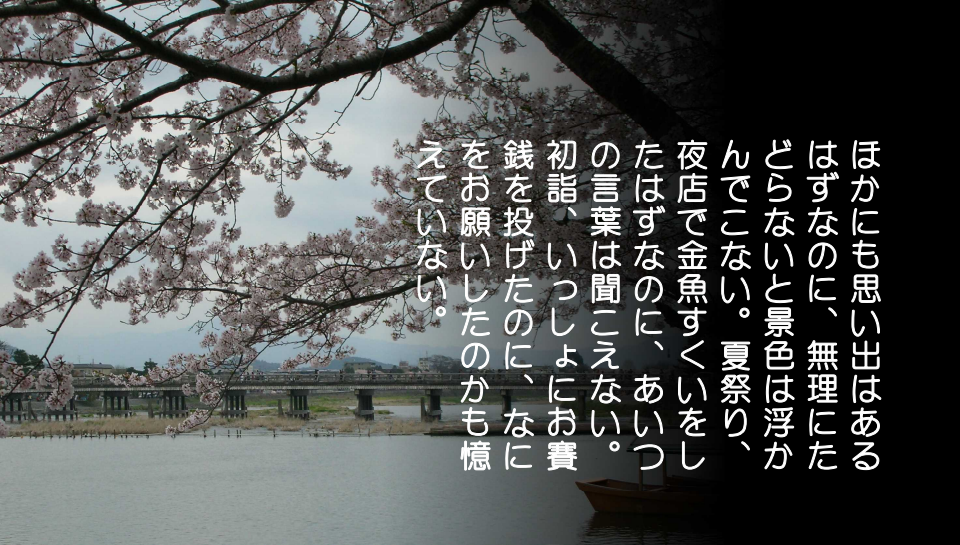
あいつがいなくなつて  
何年かが過ぎた。



きれいに咲いたあと、  
風に吹かれて桜が散る  
ように、あいつは自然  
にいらなくなった。わた  
しも追いかげなかつ  
た。きつと大人になっ  
ていたんだろう。




この頃なぜか、あいつ  
のことを思い出す。記  
憶のなかのあいつはい  
つも桜の樹の下でと囁  
いている。




ほかにも思い出はある  
はずなのに、無理にた  
どらないと景色は浮か  
んでこない。夏祭り、  
夜店で金魚すくいをし  
たはずなのに、あいつ  
の言葉は聞こえない。  
初詣、いっしょにお賽  
銭を投げたのに、なに  
をお願いしたのかも憶  
えていない。



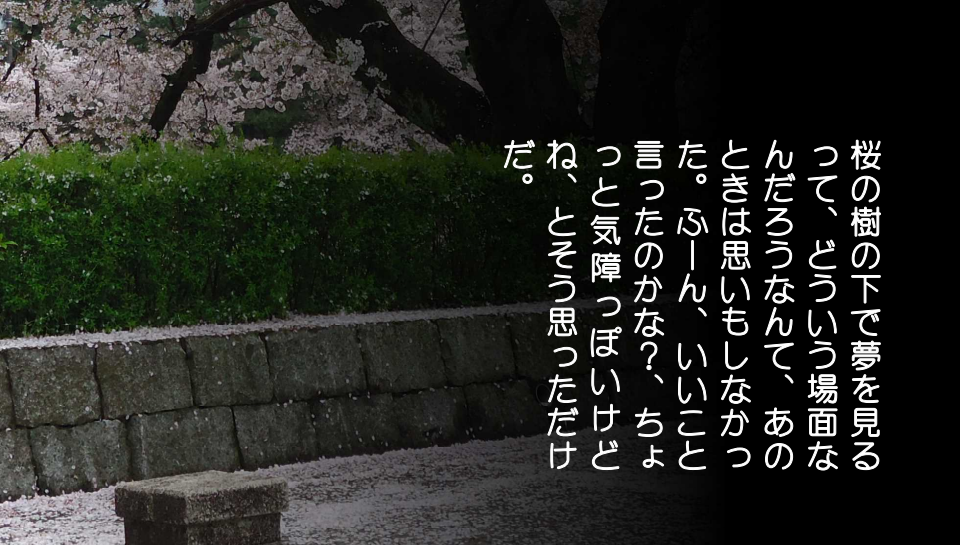
A scenic view of a river with a bridge, framed by cherry blossom branches in the foreground. The scene is captured in a soft, slightly overcast light, with the cherry blossoms in the foreground being the most prominent feature. The bridge in the background is a traditional Japanese style, and a small boat is visible on the water in the lower right corner.

春になって水辺の遊歩  
道を並んで歩いたと  
き、花を見上げてあい  
つはこうだった、



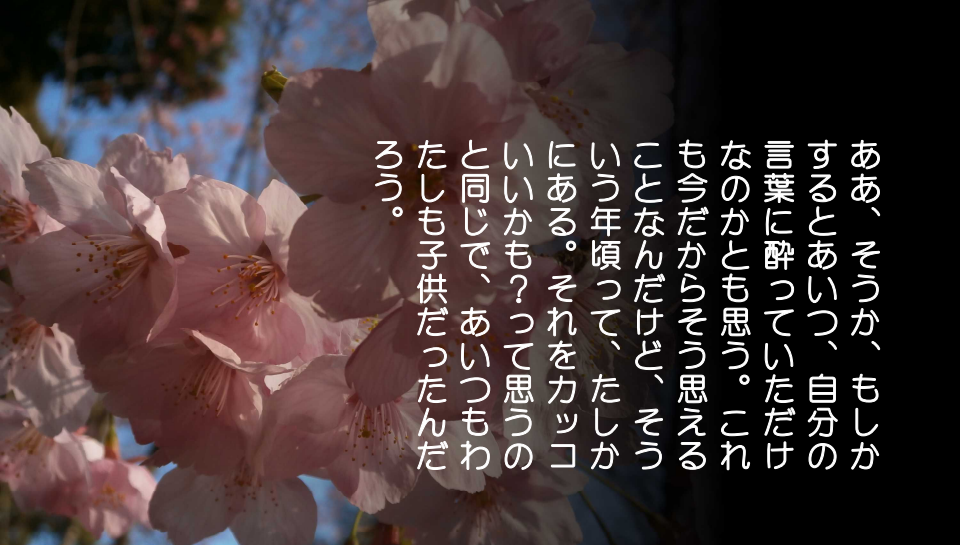
桜の樹の下で見る夢は  
悪しきけわいに染まる  
と人の言う。




A photograph of a stone wall in a park. The wall is made of large, rectangular stones and runs across the middle of the frame. Behind the wall, there is a dense area of green bushes and trees. In the upper left corner, there are cherry blossom trees in full bloom, with white and pink flowers. The ground in the foreground is covered with fallen cherry blossom petals. The overall scene is peaceful and scenic.

桜の樹の下で夢を見る  
って、どういふ場面な  
んだろうなんて、あの  
ときは思いもしなかつ  
た。ふーん、いいこと  
言ったのかな？、ちょ  
っと気障っぽいけど  
ね、とそう思っただけ  
だ。

いづらか経って思い返すと、桜の樹の下で夢を見るってどういうこと?と首をかしげていた。夢を見るんだから眠っているんだろかね。桜の樹の下なんだから屋外なんだよね。屋外で眠るなんて、それだけで特別なことになっていくんですけど、大丈夫なのかな、とツッコミたいところだらけだ。



ああ、そうか、もしか  
するとあいつ、自分の  
言葉に酔っていただけ  
なのかとも思う。これ  
も今だからそう思える  
ことなんだけど、そう  
いう年頃って、たしか  
にある。それをカッコ  
いいかも？って思うの  
と同じで、あいつもわ  
たしも子供だったんだ  
ろう。



あいつを思い出すにつ  
け、桜の樹の下で本当  
に夢を見てみたくなっ  
た。

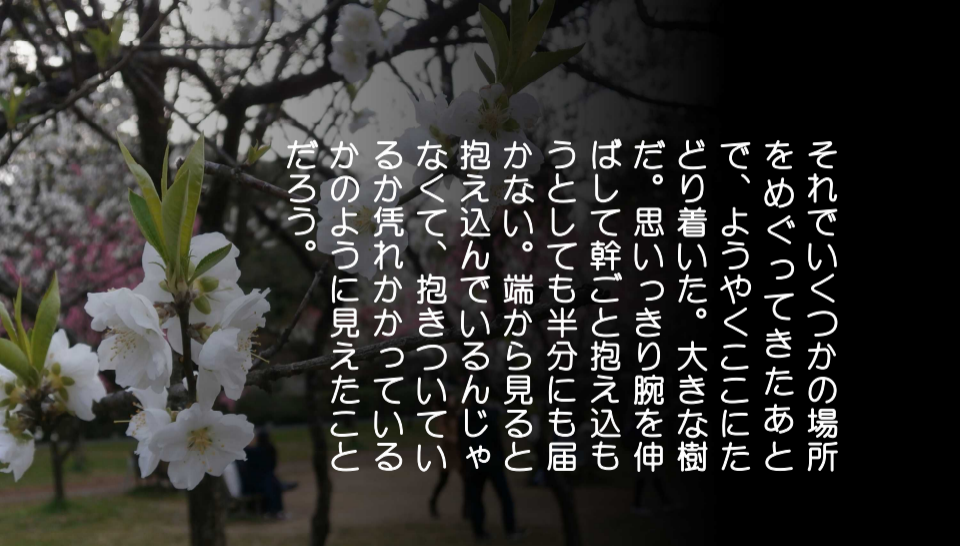
木の根元にからだを横たえてみる、すると次第に意識が遠のいていく、そうして夢うつつのあわいを彷徨っているうちにストーンと落ちてくれる。そのあとで見る夢はどんなになっているんだらう。あいつの言う通り、悪しきけわいに染まるんだらうか。と、そんなことが知りたくなつた。




もちろん桜ならなんでもいいわけじゃない。少なくとも大きな一本桜、願わくは人里離れたヤマザクラ、望月の夜に悪しきけいを誘うのはそんな存在感のある樹のはずだ。

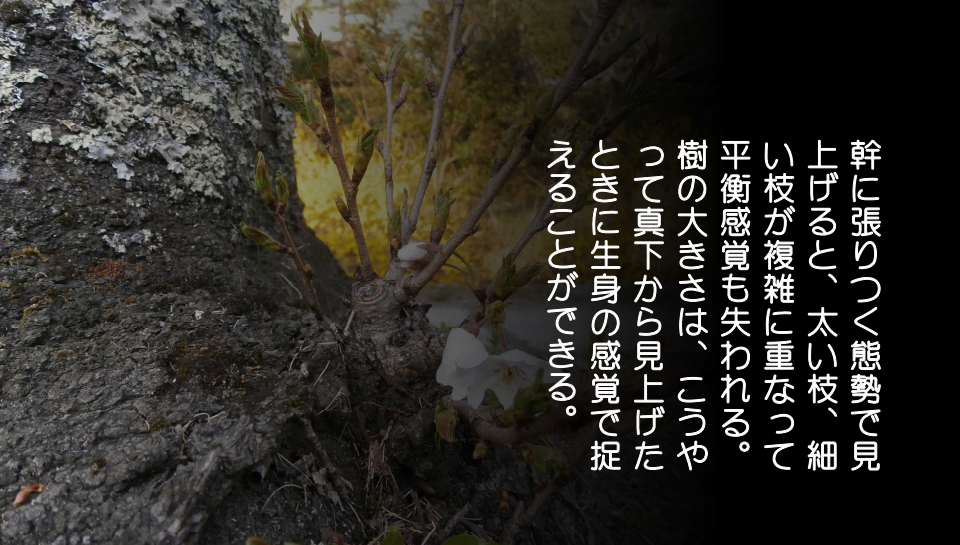


それでいくつつかの場所  
をめぐってききたあと  
で、ようやくここにた  
どり着いた。大きな樹  
だ。思いつきり腕を伸  
ばして幹ごと抱え込も  
うとしても半分にも届  
かない。端から見ると  
抱え込んでいるんじゃ  
なくて、抱きついてい  
るか凭れかかっている  
かのように見えたこと  
だろう。

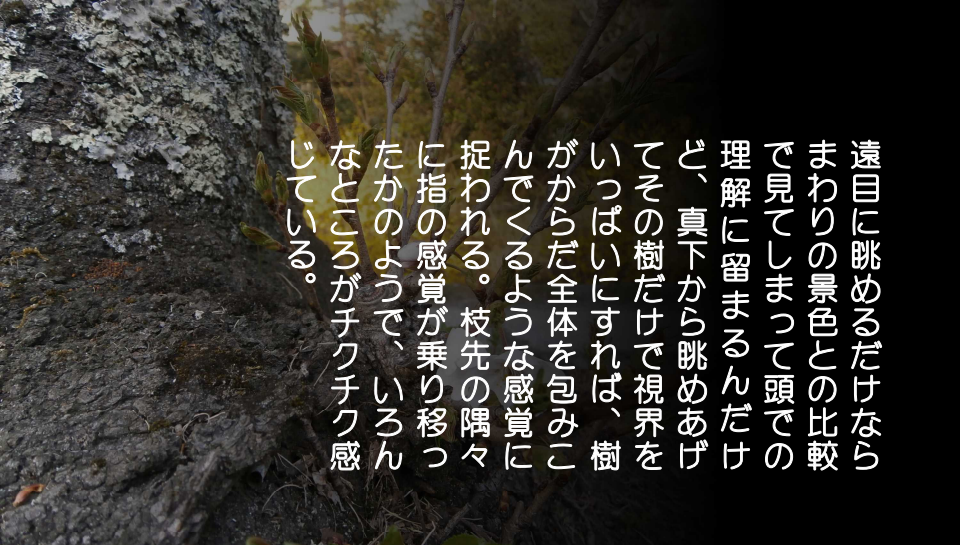





それになによりも嬉し  
いのは蜘蛛手にひろが  
る枝振りだ。ちょうど  
いい高さに太い枝もあ  
る。

A photograph of a tree branch with white blossoms and buds against a dark background. The branch is positioned on the left side of the frame, extending towards the center. The blossoms are in various stages of opening, with some fully bloomed and others as buds. The background is dark and out of focus, highlighting the branch and flowers. The text is overlaid on the right side of the image.


幹に張りつく態勢で見  
上げると、太い枝、細  
い枝が複雑に重なって  
平衡感覚も失われる。  
樹の大きさは、こうや  
って真下から見上げた  
ときに生身の感覚で捉  
えることができる。




遠目に眺めるだけなら  
まわりの景色との比較  
で見えてしまつて頭での  
理解に留まるんだけ  
ど、真下から眺めあげ  
てその樹だけで視界を  
いっぱいにするば、樹  
がからだ全体を包みこ  
んでくるような感覚に  
捉われる。枝先の隅々  
に指の感覚が乗り移つ  
たかのように、いろん  
なところがチクチク感  
じている。



そのチクチクに馴染んでくると、今度はからだ全体が引き伸ばされていくようだ。

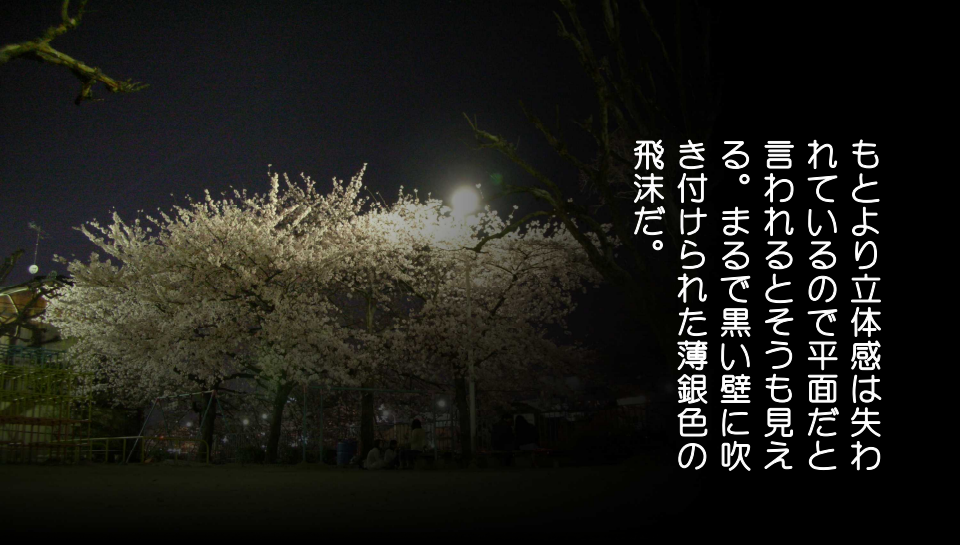


わたしの意識が樹に入り込んでいるのか、樹がわたしを吸い上げているのか、なにか開放的な気分になっているのかわかる。



闇の中に広がる花びらは、色も大きさも上下の重なりも、よく分らない。

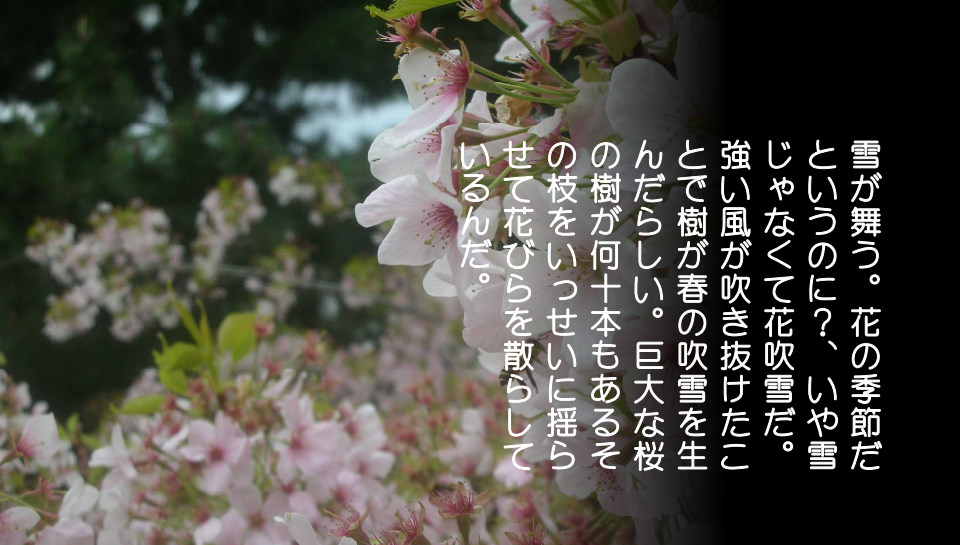


A nighttime photograph of cherry blossom trees in full bloom. The trees are densely packed and their white flowers are brightly lit by several streetlights, creating a glowing effect against the dark night sky. The branches of the trees are silhouetted against the light. In the background, a fence and some structures are faintly visible.


もとより立体感は失わ  
れているので平面だと  
言われるとそうも見え  
る。まるで黒い壁に吹  
き付けられた薄銀色の  
飛沫だ。

風？、


平面に固定されている  
はずの飛沫が少し揺れ  
たかに見えた次の瞬  
間、それらはふわりと  
浮きあがり、続いて右  
へ左へと乱れはじめ  
た。



雪が舞う。花の季節だ  
というのに？、いや雪  
じゃなくて花吹雪だ。  
強い風が吹き抜けたこ  
とで樹が春の吹雪を生  
んだらしい。巨大な桜  
の樹が何十本もあるそ  
の枝をいっせいに揺ら  
せて花びらを散らして  
いるんだ。

A photograph of a waterfall with cherry blossom branches in the foreground. The waterfall is in the center, with water cascading down. The foreground is filled with white cherry blossom branches, some in full bloom and some as buds. The background is dark and out of focus.


いつだったろう、よく  
似た風景に憶えがあ  
る。これと同じように  
雪かと紛う花吹雪のな  
かへ静かに落ちていつ  
た記憶。

A photograph of a waterfall with cherry blossom branches in the foreground. The waterfall is in the center, with water cascading down. The foreground is filled with white cherry blossom branches, some in full bloom and some as buds. The background is dark and out of focus.

あれも真っ暗な夜だった。  
暗闇のなかに舞う  
花びらを、美しいでは  
なくて艶めかしいと思  
った。



ものほい、  
気持ちい  
し。



そうだ、あの時も時間  
が止まったんだっけ、  
今と同じように。




いや、同じようじゃ  
なくて完全に同じだ。  
あの時を今もう一度繰  
り返しているんだ。






だとしたら、ほら、や  
っぱり、頸には紐がか  
かっている。



そうだったけ、あの時は  
この枝で頸をくくった  
んだ。



そして、止まった時間  
のなかであいつの声を  
聞いたんだっけ。耳を  
澄ませば今だって聞こ  
えている、わたしを呼  
んでるあいつの声が。



そう、今だからわかる、



わたし、もう少しく、

生きていてもよかった  
んだって。









レクイエム

古城悠・オフィス 34

二〇二四年五月一日

第一刷発行

著者 古城悠

写真者 オフィス 34

発行者 秋水慧

発行所 オフィス 34

京都市下京区東中筋通五条上ル

天使突抜二丁目三九四、一